

金沢大学学校教育学類

テーマ及び目的	加賀野菜等の栽培を通じた食育活動
対象及び参加人数	10名程度
実施日	平成27年6月～12月 計 約20回
実施主体	金沢大学教員（土井 妙子）と学校教育学類の学生（「生活科専門研究」や「学習指導論」の受講生）
会場	金沢大学 角間キャンパス内の畑
スタッフ	角間の里山メイトの方
内容等	<p>講義の一環として、学生たちと「打木赤皮甘栗かぼちゃ」や「源助大根」といった加賀野菜や、枝豆、ラッカセイ、小豆やかぶなどを種から育てた。農薬や化学肥料は使用せず、有機肥料を少し使用するだけの自然農法に近い方法で育て、それなりに収穫できた。キャンパス内の雑草や竹を使用した有機肥料づくりも実施している。小規模ではあるが、地域の材料を使用した循環型農法を志向したい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成果	種から育てたため手間はかかったが、成長過程を観察でき、理科的素養を高めるよい実践になったと思う。学生たちは、途中の世話より収穫の方が楽しかったようで、特に実の多くついたラッカセイの収穫は、皆初めてだったため、とても驚いていた。栽培の楽しみを十分に味わったと思う。また、学生たちは、収穫した野菜をつかって「かぶのクリーム煮」や「ピーナッツバター」などを作っており、総合的な食育実践に近づけたと考える。
今後の課題感想等	小学校や幼稚園教員志望にもかかわらず、土いじりが苦手、虫が苦手といった学生が少なくないので、どのように積極的に作業に参加させるか工夫が必要だと感じた。今年度は収穫物を各自で調理して楽しんだが、今後は、本格的に料理の先生にならって皆で調理も楽しむ実践も取り入れたい。